

八丈島 水産だより

9月号

2015



ハイビスカス



お盆の底土海水浴場

8月の八丈島ではとても雨が少なく、暑い日が続きました。連日、海水浴場は多くの観光客や夏休みの子供たちでにぎわいました。

海水浴場での島の子供たちの楽しみは「飛び込み」です。助走をつけたり、回転したり、いろいろなスタイルで堤防からつぎつぎと飛び込みます。島外の子供たちも、初めは恐る恐るですが、1回2回と飛び込むうちに慣れ、夢中になっていきます。ぜひ青く透き通った八丈島の海に飛び込みに来ませんか。

■ ムロアジ漁の漁模様

8月から始まったムロアジ（クサヤモロ）の棒受け網漁は、3隻の漁船が漁を行っています。

漁始めは小さなムロアジが獲れ、頭から食べられるくさやに加工されます。この時期しか作れない小さなくさやは人気商品です。すぐに完売してしまいます。

お盆ころからはお大きめの魚が獲れています。台風のため、出漁できる日も少なくなっていますが、この先の豊漁を期待します。

操業のようす



ムロアジ

■ 漁業就業体験が行われました



カツオ曳縄漁を体験



意見交換会

8月21日から27日までの6泊7日で、将来、八丈島で漁師になりたいと考えている3人が、漁業の体験をしました。

ところが、台風が近くにあり、海が荒れていたため、予定していたキンメダイの底魚一本釣りはできませんでしたが、カツオの曳縄漁とムロアジ棒受け網漁は体験できました。また、島内の商店や病院、住宅など、生活するために必要な施設の見学も行いました。

意見交換会では、島内移住に積極的な意見もあり、新しい島民誕生に期待します。